

ツキノワグマのエサ資源調査（雄花の落下数調査）結果について

例年、人身被害の防止のため、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の豊作、凶作を予測することにより、秋のツキノワグマの出没傾向を予想している。エサ資源の事前予測については、ブナ科植物の雄花の落下数から推定している。



<調査結果>			内 訳					
樹種	事前予測	雄花落下数 平均値 (個/㎡)	調査地点	大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	○並作 (R4: ▲凶作) (R3: ○並作)	254 (102) (382)	21地点	2	6	13	0	0
			(25地点)	(9)	(12)	(4)	(0)	(0)
ミズナラ	◎豊作 (R4: ◎◎大豊作) (R3: ◎豊作)	382 (520) (499)	18地点	1	5	5	2	5
			(19地点)	(0)	(3)	(4)	(4)	(8)
コナラ	○並作 (R4: ○並作) (R3: ○並作)	852 (867) (560)	28地点	0	3	14	9	2
			(29地点)	(0)	(2)	(18)	(7)	(2)
			(30地点)	(1)	(10)	(14)	(5)	(0)

※事前予測は、調査地点全体の雄花落下数の平均値（個/㎡）で豊凶を判断

※各調査地点の豊凶判断は、1地点あたり5箇所を調査した雄花の落下数（個/㎡）で判断

（樹種別豊凶判定基準）

（単位：個/㎡）

樹種	大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	30未満	30 ~ 200	200 ~ 900	900 ~ 1,700	1,700以上
ミズナラ	50未満	50 ~ 200	200 ~ 300	300 ~ 500	500以上
コナラ	50未満	50 ~ 200	200 ~ 1,000	1,000 ~ 1,900	1,900以上

※石川県林業試験場の研究結果による判定基準

このうちブナについては、4月にドローンを活用した開花調査を行い、並作傾向の予想としたが、同様の結果となった。

8月には、樹上の果実を数える、より精度の高い「着果度調査」を実施し、豊凶状況を9月上旬に公表することとしている。

参考：近年の着果状況調査結果と令和5年雄花の落下調査結果による豊凶状況（予測）

区分	各年度の着果度調査(8月)における豊凶結果										R5.6 雄花落下 数調査の 結果	凡 例
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
ブナ	▲	▲	◎	▲	○	○	▲	×	◎◎	▲	○	大豊作 ◎◎
ミズナラ	○	○	○	◎	◎	◎◎	▲	○	◎	◎	◎	豊作 ◎
コナラ	○	○	○	◎	○	○	○	▲	○	○	○	並作 ○
目撃件数	147 (102)	256 (92)	195 (83)	246 (146)	200 (117)	178 (112)	350 (166)	869 (154)	231 (137)	244 (177)	— (71)	凶作 ▲
												大凶作 ×

※（ ）内は7月11日時点の目撃件数